

大規模地震 行動マニュアル



山口県内において、建物の損壊や交通機関に甚大な被害が生じるような地震(震度5弱以上)が発生した場合は、このマニュアルを参考にして、身の安全を守り、落ち着いて行動しましょう。
このマニュアルを参考にして、

① 平常時の準備

地震の発生を防ぐことはできませんが、普段から準備をしておくことで被害を少なくすることはできます。
どのような備えが必要か考えておくことが大切です。



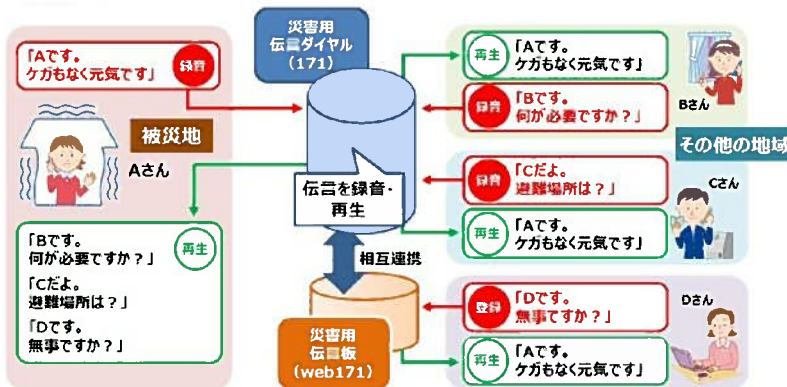
- ◆ 避難場所(大学付近及び自宅周辺など)の確認
- ◆ 災害用伝言サービスの確認と登録
- ◆ 緊急時アイテムの確認
- ◆ 緊急避難経路、避難場所の確認(大学及び通学途中)
- ◆ 大学、友人等への確認方法
- ◆ 家族との連絡方法及び待ち合わせ場所の確認
- ◆ 帰宅ルートの確認

メモ

④ 家族との安否確認

NTT災害伝言ダイヤルサービス

大規模な災害時に携帯電話やスマートフォンで安否確認ができる「災害用伝言板」が提供されています。



詳しい利用方法等は、NTTのホームページを確認してください。
その他携帯各社で提供されているサービスは、各ホームページを確認してください。

② 緊急時の避難アイテム

普段から準備・点検し、備えておけば緊急時に役に立ちます。
何が必要か考えてみましょう。



- 現金
- 健康保険証
- 学生証
- 免許証
- 非常食
- 飲料水
- タオル、絆創膏など
- 携帯電話充電用ケーブル
- ゴミ袋
- アドレス帳
- ティッシュペーパー
- 乾電池

その他緊急時に必要なもの

- 預貯金の通帳
- 印鑑
- レジャーシート
- マスク
- 軍手
- 下着、靴下
- 使い捨てカイロ
- 運動靴
- 常備薬
- 救急セット

メモ

③ 地震が発生したら

地震が発生したら、正確な情報を収集することが大切です。

- ◆ 正確な情報収集に努め、なるべく集団で行動する
- ◆ むやみに動かず安全を確認する
- ◆ 倒れやすいものから離れて、落下物に注意する
- ◆ 火元を確認する
- ◆ 非常口を確認し、避難口を確保する
- ◆ 持ち出す荷物は、最小限にする
- ◆ 負傷者の救護や初期消火を行う
- ◆ 家族との安否確認、大学への安否連絡を行う

⑤ 大学への安否連絡

大地震が発生した場合、大学から学生の安否確認を行います。
地震発生時に登校していない場合は、連絡可能になり次第、大学(下記連絡先)に連絡してください。

連絡先

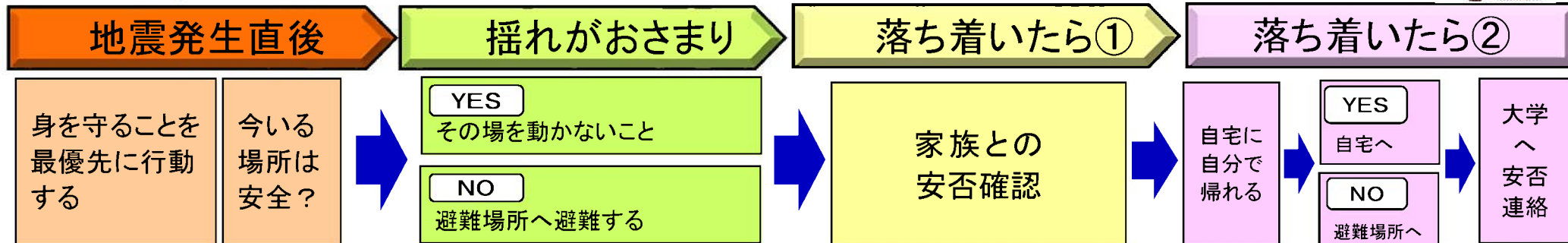
TEL(083)972-3288
又は(083)972-2880

報告事項

- ① 氏名
- ② 学籍番号
- ③ 本人・家族の状況
- ④ 自宅や付近の状況
- ⑤ その他(困っていること等)



大地震が発生したときの行動のポイント



大学にいるとき

大きな揺れを感じたら

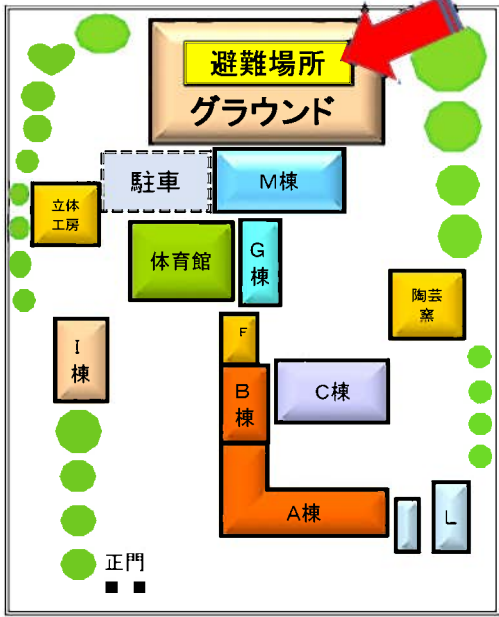
- ◆危険物から離れる
窓や手すり、ガラスなど割れたり、中のものが飛び出しそうなところから離れる。実習中などで、周りに危険なものがあれば、その場から離れる。
- ◆落下物から頭と手足を守る
机の下にもぐるなどで頭と手足を守る。落下物がないか確認する。
- ◆出口を確保する
余裕がある場合は、ドア付近にいる者がドアを開けて出口を確保する。
- ◆揺れがおさまるのを待つ
安全を確保して、揺れがおさまるのを待つ。

揺れがおさまったら

- ◆冷静に、落ち着いて
余震の可能性が考えられるので、慌てずに様子を見る。
- ◆周囲の状況を確認
周囲のものが倒れたり、落下する恐れがない場合は、その場で待つ。危険と判断したときは、安全なところに移動する。
- ◆初期消火
火災が発生している場合は、自分の身が安全な範囲で周囲と協力して初期消火。困難と判断した場合は、その場から離れる。
- ◆負傷者の救護
負傷者がいる場合は、自分の身が安全な範囲で周囲と協力して応急手当をし、教職員に連絡する。

避難するときの注意点

- ◆冷静に避難
教職員や非常放送の指示に従い、落ち着いて避難する。避難に支障が出る荷物は置いて避難する。
- ◆火災が発生している場合
煙を吸わないよう、タオルなどで口を覆う。
- ◆階段で移動
エレベーターは使用せずに、階段で移動する。
- ◆避難場所
避難場所は、広く、火災による延焼のおそれがないところが適しています。大学では、あらかじめグラウンドを避難場所として指定していますが、状況により安全な場所に避難してください。



通学・外出時

- ◆被害状況を正しく把握する。
- ◆周囲の状況に注意し、身の安全を最優先する。
- ◆むやみに動かず、安全を確保する。
- ◆塀、電柱、自動販売機などから離れて、落下物にも注意する。

- ◆正確な情報収集に努め、なるべく集団で行動する。
- ◆避難中は警察や消防の指示に従う。
- ◆エレベーターは使用せずに、階段で移動する。
- ◆避難は徒歩で、荷物は最小限にする。
- ◆負傷者の救護や初期消火に協力する。

家族等の連絡先

- ◆大学、家族に安否連絡を行う。
- ◆多くの人が一斉に移動を始め、混雑が発生するため、余裕を持って行動することが大切。
- ◆日没後の行動は危険で、夜間は犯罪に巻き込まれないよう一人での行動は避けること。

携帯各社のQRコード

NTTドコモ

au

ソフトバンク

ワイモバイル